

【特集企画】

「メタボロミクスと疾患・老化」

近年の質量分析器の急速な進展に伴い、網羅的な細胞内代謝物の解析（メタボロミクス解析）が可能になった。その結果、多くの生物学的現象を代謝物レベルで理解できるようになってきた。また、旧来のゲノミクス解析やプロテオミクス解析を平行して行うことで、いわゆるオミクス解析で、生命事象自体に加え、疾患の病態や原因を遺伝子 - タンパク質 - 代謝物に広げて総合的に理解できる時代が到来した。

本特集号では、多様かつ複雑な疾患・老化現象を、メタボロミクスの視点から切り取った最新の研究成果を紹介したい。メタボロミクス研究の最前線で研究活動を展開されている4名の先生に執筆を御願ひした。照屋 貴之先生（沖縄科学技術大学院大学）と近藤 祥司（京都大学）先生には血液メタボロミクスによる老化マーカーについて、深水 昭吉先生（筑波大学）には生物学的メチル化を介した寿命制御について、中川 崇先生（富山大学）にはNAD代謝による老化制御機構について、魏 范研先生と富澤 一仁先生（熊本大学）には代謝疾患におけるRNA修飾について執筆していただいた。

編集委員

清水 孝彦

渡辺 信博